



## 地域おこし協力隊を中心に進める「自伐型林業」

- かつてのように、森林所有者や地域住民たちが自ら森林整備に取り組む「自伐型林業」が注目されつつある中で、**島根県津和野町**では地域おこし協力隊を募集し、その実践者を育成しています。
- 地域おこし協力隊の任期中に、小型重機を使った壊れない作業道づくりのノウハウを学んだり、搬出間伐などの技術を習得したりして、任期終了後には町内で本格的な「自伐型林業」に取り組んでいる隊員も現れ始めています。



ありむら のぞみ

**島根県津和野町 地域おこし協力隊員 有村 望さん**（活動期間：平成28年度～平成30年度）

以前は都会で木材の流通の仕事をしていましたが、林業の現場から国産材の普及に貢献したいと思い津和野町へ移住しました。「自伐型林業」の特徴である自然と調和した森林整備に取り組み、間伐材や広葉樹を利用した木工にも挑戦しています。



## 北海道十勝から全国の食卓へ！

～ 安全・安心・美味しい「原木しいたけ」をお届けします ～

しんとくちょう

- 北海道新得町は、北海道のほぼ中心、十勝地方北西部の中山間に位置し、総面積約1,064km<sup>2</sup>のうち、約90%が森林で大雪山国立公園にも指定されている緑深い自然豊かな町です。
- 現在、新得町では原木しいたけの生産体制の強化及び担い手育成を推進しており、地域おこし協力隊員が中心となって原木しいたけの生産・販売、生産者の育成・サポート等を行っています。



おかだ たくし

**北海道新得町 地域おこし協力隊員 岡田 拓史さん**（活動期間：平成29年度～令和元年度）

ここ新得町は豊かな自然環境を活かし、そばや地鶏、チーズ、鹿肉など地域ならではの食品の生産が盛んに行われている非常にポテンシャルの高い町です。その中でも原木しいたけは広大な町有林を有効活用し、時間と手間をかけた高品質な椎茸作りが行われています。任期終了後には私自身も生産者の1人として安心安全で高品質な商品の生産はもちろんのこと新得町の特産品の1つとして知名度の向上をはかり、町の発展につなげていきたいと考えています。



## 「木のまち吉野」だからできる「木育」をめざして

～ 木とふれあい、木に学び、木と生きる ～

よしのちょう

- 奈良県吉野町**を含む吉野地域は、約500年前にスギやヒノキの植林が開始された我が国の造林発祥の地です。その植林・造林技術、製造加工技術が「吉野材ブランド」を築き、地域の経済と雇用を支えてきました。2016年、町制施行60周年の節目を「木育元年」と位置づけ、「木のまち吉野」の産業・歴史・文化を誇りとした新たなまちの活性化をめざしています。
- 地域おこし協力隊木育担当として、こども園・小中学校で木育授業などの木育に関する取組への支援をしています。



はしもと みほ

**奈良県吉野町 地域おこし協力隊員 橋元 美穂さん**（活動期間：平成28年度～平成30年度）

学生時代にデザインを学び、輸入玩具の販売の仕事を経て、日本の木でおもちゃを作りたいとの想いから、職業訓練校で木工を学び、吉野町に移住しました。吉野の杉・桧の素材と、木や森に関わる地域の人々に囲まれて、こども園・小中学校と連携して0～15歳までのつながりのある木育を支援する活動をしています。活動外では吉野材を素材に、木のおもちゃや小物などを製作しています。子ども達が自分たちのふるさとを誇りに思い、木に親しみを持つことや、木を通してそれぞれの感性を育むことを目的に活動しています。